

Vol.114

2016年4月号

やらざあ

ふみだそう、福祉でまちづくり



茅野市社会福祉協議会

会長と語る会

1月26日(火)茅野市ボランティア連絡協議会主催「社協会長と語る会」が開催され、ボランティア活動を行っている人や関心のある人たち30人余りが参加しました。

金田会長は民間初の市社協会長として着任し1年半が経過しました。「登録ボランティアは130団体あり、まさに住民同士の支え合い活動をしている。住民が安心して暮らせる地域にして行くため社協として、市や地域・ボランティアと繋がり、支援の必要な人に手が届いているか確認しながら事業を進めていきたい」と話しました。

企業に地域の一員として河川清掃などのボランティア活動に積極的に参加してもらえるとありがたい。

趣味を活かした活動は、自分も楽しみ人を楽しませ、喜んでももらえるとまた頑張れる。

福祉推進委員制度がうまく機能していない。もっと社協が力を入れて地域福祉推進に活かさないか。

別荘地区では、地区内の情報が届かず、ほっとかれ状態。高齢者福祉の情報が届くようにならないか。

参加者からは、日頃の活動の悩みや、活動の状況などが語られました。

我が地区は、店が1軒もなくなってしまった。高齢化が進み買い物弱者にバスを出したいが、社協で対応できないか。

高齢者の閉じこもり予防に地域のサロン活動をしている。元気な高齢者にはお客様でなくボランティアだと言うと喜んで手伝ってくれるので、音頭取りをお願いしている。

活動者の高齢化で人数が減ってきて心細い。

男性の参加が少ない。気に入ったサークルには出ると思っているが、どんな誘い方をしたらいいのか。

高齢者クラブは男性の参加者も多い。ちょっとお酒を飲むとか何か楽しみがあれば男性も参加しやすいのでは。

泉野地区社会福祉協議会

泉野地区福祉講演会

泉野地区では、平成26年から特殊詐欺についての取り組みを実施しています。平成27年は、10月16日に弁護士のみなさんにより、多発している事例を寸劇にして紹介してもらいました。そして「周りの方々に相談する」「儲け話には注意する」「本人かどうか確認する」など予防対策も詳しい説明がありました。参加者は真剣に耳を傾けていました。



地域を良くするための活動をしているのが地区社協です。

今回も前号に引き続き地区社協の活動を紹介地区社協は、地域で福祉活動に取り組んでいる自分たちの地域をより良くするために、横のつ協力し合う自主的な組織です。

地区社協では、地区で取り組む活動や区・自治それぞれが、各地区のプランにそって活動をし

ていきます。

人たちで構成されています。

ながりを持ち課題解決に向けて知恵を出し合い、

会の活動支援も行っています。

ています。

宮川地区社会福祉協議会

福祉運動会

日頃からの地区住民のつながりを大切にしたいという思いをもとに、平成27年10月4日に宮川小学校校庭にて福祉運動会を開催。お年寄りから子どもまで大勢の方が参加しました。宮川地区内の障害者施設による出店や消防団の救護操法披露、茅野高校吹奏楽部による演奏もあり大いに盛り上がりしました。また、赤十字奉仕団宮川分団による非常食の炊き出しや宮川ボランティア愛の会による豚汁のふるまい、商店・企業の方にご協力いただいた景品や豪華賞品が当たるジャンケン大会などもあり、楽しく福祉の勉強ができました。



早い組が勝ちじゃないんだよ。決められた時間に一番近いタイムでゴールした組が一等賞だったよ。



こんなにたくさん作っているんだね

年に1回でも繋がる機会にのれたらいいね

玉川地区社会福祉協議会

おせち料理宅配事業

毎年年末に実施する玉川地区の伝統行事です。一人暮らしの高齢者の方に、佳き新年を願うメッセージを添えて、声を掛けながらおせち料理を手渡します。平成27年は約150人の方にお配りしました。毎年好評で、真心のこもった手作りのおせちを、多くの方が心待ちにしてくださっています。

民生児童委員、ボランティアの会、女性の会など40名近くで準備してお届けします。これからも美味しいおせちを心掛けていきます。



豊平地区社会福祉協議会

視察研修

(長野市・駒沢新町第二団地・安茂里地区園沖区)

平成27年7月16日に長野市に視察研修に行ってきました。駒沢新町第二団地では「サロン」での居場所作りの様子を見学しました。また園沖区では、「園ねっ」と呼ぶボランティア組織が、生活支援など多様な住民ニーズに対応している事例をお聞きました。「孤立をなくす」「出来る人が、出来る時に、出来る事をやる」という助けあいや繋がりを大事にして活動しているそうです。都市部と農村部の違いはあれ、福祉に携わる一人として福祉活動の基本を改めて見直す機会になりました。

他の地区の活動を知ることも刺激になるね

豊平に帰ってできることはあったかな?



茅野市のサロンではマージャンは見かけないね

金沢地区社会福祉協議会

まごころ昼食会

金沢地区では毎年70歳以上の一人暮らしの方を対象に、恒例となった「まごころ昼食会」を開催しています。外出の困難な方には民生委員が送迎を行い、平成27年も50名を超える参加者でにぎわいました。

はじめに地域福祉行動計画の「住んでよかったかなざわづくり」の一環で「自宅で元気に生活し続けるために」について往診ク/ニツクちの、林先生より講演をいただきました。そして地区社協委員が前日から準備した手作り料理で楽しんだ後、委員が練習を積んだ演歌体操を披露し、最後は参加者一同が輪になって定番の「大阪すずめ」を踊り大いに盛り上がりしました。



赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました

平成27年10月から12月まで行なわれた「赤い羽根共同募金」運動。市民のみなさんをはじめ、企業・学校・団体等からたくさんの募金をお寄せいただきました。

ご協力に感謝申し上げますとともに、結果をご報告いたします。

平成27年度の募金総額は **8,613,260円** でした。

各地区の戸別募金

ちの	1,312,602円
宮川	1,198,768円
米沢	377,437円
豊平	757,235円
玉川	1,448,212円
泉野	288,135円
金沢	403,529円
湖東	385,047円
北山	460,145円
中大塩	251,836円

各地区の法人募金

宮川	443,000円
米沢	138,500円
豊平	261,206円
泉野	99,000円
金沢	198,000円
湖東	331,000円
北山	89,000円

その他の募金

縞枯山荘	28,772円
ボーイスカウト茅野第1団	24,000円
茅野市社協・各SC	20,024円
街頭募金	10,245円
その他	35,504円

学校の募金

永明小学校	宮川小学校
泉野小学校	北山小学校
長峰中学校	北部中学校
合計	52,063円



ご協力いただいた募金のうち約60%の5,077,260円が茅野市内での福祉活動に使われ、残りの40%の3,536,000円は、長野県内の福祉活動・防災活動等に使われます。

ホームヘルパーさん急募!!

茅野市社会福祉協議会では、ホームヘルパーを募集しています。

65歳未満の方で、一緒に働いていただける方は、ぜひご連絡ください。

時 給: 1,100円～1,400円(処遇改善手当あり)

内 容: 訪問介護(茅野市内の各自宅)・身体介護・生活援助

☆直行直帰、短時間勤務可能

資 格: 介護福祉士、介護職員初任者研修修了者(ヘルパー2級)

普通自動車運転免許

連絡先: 茅野市社会福祉協議会 総務・企画係 電話73-4431



まずは自分自身の生き方を考え、家族や身近な人と話し合う場が大切だと思います。

① 住みやすい「まち」ですか？
② 将来自分のまちが存続するには、何が必要ですか？

自分のまち(市区町村)のこと

か? (今すぐ利用できますか?)

② 高齢者・障がい者(児)・子育て支援ありますか? 「今日の今日利用できますか?」

③ 要介護状態、認知症になったら、車イス状態になったら、寝たきりになったら...

自分の地域・区・自治会・隣組のこと

④ 人生最後のこと...

① 身近での支援(見守り・声掛け・お茶飲み・話し相手など)ありますか？

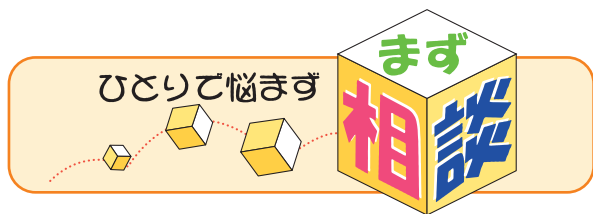
② 一人暮らしになったら、車に乗れなくなったらどうしてほしいですか？

③ 要介護状態、認知症になったら、車イス状態になったら、寝たきりになったら...

自分のこと

① 隣近所で困っている人がいたら、どんな支援ができますか？
② 一人暮らしになったら、車に乗れなくなったらどうしてほしいですか？
③ 要介護状態、認知症になったら、車イス状態になったら、寝たきりになったら...





人生には様々な悩みがあります。「誰にも相談できない」「どこに相談したらよいかわからない」そんなときは、まず社協にお電話ください。

平成27年4月13日より、相談会場は市役所
議会棟1階 社協事務局に移りました

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください。

(第3金曜日は年金相談もできます)

毎週金曜日 午前9時～正午

相談員：心配ごと相談員

心の悩み相談には、事前の予約が必要です。

(精神保健福祉士が対応)

会場：市役所議会棟1階(社会福祉協議会相談室)

結婚相談

結婚を望まれる方の相談窓口

毎月第1・3土曜日(4月2日は御柱祭のため休み)

午後1時～午後4時

毎月第2・4金曜日

午後6時30分～午後8時30分

相談員：結婚相談員

会場：市役所議会棟1階和室

司法書士の法律相談(予約制)

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時～午後5時

相談員：司法書士 予約電話／73-4431

会場：市役所議会棟1階(社会福祉協議会相談室)

福祉やボランティアの相談

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分

電話／73-4431 FAX／73-8030

社協情報紙 **やらざあ** Vol.114

2016年4月号

発行／社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集／やらざあ編集委員会

〒391-8501 茅野市塚原2-6-1

TEL (0266)73-4431

FAX (0266)73-8030

URL: <http://sharara.or.jp>

E-mail: support@sharara.or.jp

読者の声

・金田和尚のつづやき「あたりまえ」の詩を読み深く感じ入りました。(北山 50代 女性)

・「あたりまえ」の詩を読ませていただき、私も30代の時、仕事で指先を少し切断した時のことを思い出し、本当に胸が熱くなりました。(塚原 70代 女性)

・これから社会がどのような方向へ向かっていくのか(人口減少etc)わかりやすく書いてありためになりました。(玉川 30代 女性)

・「金田さんのつづやき」が楽しみです。「なるほど」「そうだなあ」と改めて考えることが多いです。また各地区の活動も今後の自分のため、親のためによ〜く読んでいます。(豊平 40代 女性)

・「やらざあ」の紙面は見やすくていいです。「金田和尚のつづやき」は身近なこと心にしみます。(豊平 60代 女性)

・毎月「つづやき」を楽しみにしています。2月号の「あたりまえ」感激して、ノートに書き写しました。(宮川 70代 男性)

・金田和尚のつづやきに「あたりまえ」という詩が紹介されていました。私たちはこの日常の“あたりまえ”に感謝して生活していきたいと思います。そこには自ら幸せを感じられるでしょう。(湖東 70代 女性)

今回のクイズ

御柱クイズ



諏訪大社上社の御神体は何でしょう？

① 蓼科山 ② 守屋山 ③ 小泉山

応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢(年代)、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあのご感想、つづやきなど一言添えて社協までお送り下さい。ハガキや封書の他、ホームページのお問い合わせフォームからも応募できます。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り

4月15日(金)

前回のクイズの答え

② 寒天の日

当選者

富澤章子さん(北山) 篠原み江子さん(塚原)

藤原由希子さん(玉川)

当選された方には図書カードをお送りいたします。

たくさんのご応募ありがとうございました。



社協情報紙 **やらざあ** の発行にはみなさんの会費と共同募金が使われています。